

(様式第 1 号) (第 9 条関係)

事業基本計画書

令和7年 7月 9日

長野県知事 様

住 所 東京都千代田区神田須田町1-16-5
氏 名 株式会社プロメディア
代表取締役 尾高智明

上記代理人 行政書士 岡田賢司

登録番号 第16151944号

連絡先 090-5788-4472

〔法人にあつては、主たる事務所の
所在地、名称及び代表者の氏名〕

長野県地域と調和した太陽光発電事業の推進に関する条例第 9 条第 1 項（第21条第 3 項、第27条及び附則第 6 項において準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

太陽光発電施設の設置の場所		小県郡長和町大門字大萱野3578番1、3600番4、3601番、3602番2、3578番2
事業区域の位置及び面積		26, 892. 2㎡
太陽光発電電力施設の合計出力		900kW（定格出力） （太陽電池の合計出力1644. 75kW）
太陽光 発電事 業の内 容及び 実施予 定期間	発電電力の用途	■売電 □自家消費 設備ID（ 非FIT ）
	設置工事着手予定日	令和7年10月1日
	設置工事完了予定日	令和8年6月30日
	運転開始予定日	令和8年8月1日
	施設撤去予定日	令和28年7月31日
太陽光発電施設の設置に関する計画		※別紙「太陽光発電施設設置計画書」添付
太陽光発電施設の構造に関する事項		地上設置型太陽光発電システムの設計ガイドライン等を参考の上、設計会社による構造（強度）計算を行い、架台について風雪に耐えられる強度なものとする。
景観の保全のための措置の検討に関する事項		別添「景観の保全のための措置の検討状況書」参照
環境の保全のための措置の検討に関する事項 ※（環境配慮区域に太陽光発電施設に設置する場合に限る。）		※非該当

維持管理計画に関する事項	別添「維持管理計画」参照	
関係市町村長及び関係住民の 範囲並びにその根拠	範囲	関係市町村：長和町 長和町太陽光発電設備の設置に関する要綱 関係住民の範囲： 要綱第2条 (3) 近隣関係者 次に掲げる者をいう。 (ア) 開発区域の境界から30メートルの以内の区域 に土地又は建築物を所有する者及び居住する者 (イ) 開発区域に係る自治会その他の関係者
	根拠	・太陽光発電に関するガイドライン及び要綱
事業基本計画説明会の開催の 日時及び場所	日時	令和7年7月28日 18時30分～
	場所	鷹山集会場
意見の提出先	住 所 東京都千代田区神田須田町1-16-5 氏 名 株式会社プロメディア 代表取締役 尾高智明 電話番号 03-3527-9133	
土地の権原の取得予定	設置場所の土地の権利については既に権限取得済み	
地域社会に資する事項	自治会費等は協力させていただきます。	
備考	連絡先 住 所 東京都千代田区神田須田町1-16-5 氏 名 株式会社プロメディア (電話番号) 03-3527-9133 (FAX番号) 03-3527-9144	

注 1 該当する□内に△印を記入すること

- 2 「太陽光発電施設の設置の場所」欄は、提出に係る太陽光発電施設の事業区域が所在する土地の地番全て記載すること。
- 3 「事業区域の位置及び面積」欄には、小数第1位まで記載すること。
- 4 「太陽光発電施設の合計出力」欄は、小数第1位まで記載すること。
- 5 「発電出力の用途」欄は、再生可能エネルギー電気の利用の促進に関する特別措置法（平成23年法律第108号）第9条第1項の規定による申請手続中の場合は、その旨を記載すること。
- 6 「備考」欄には、電話番号、FAX、電子メールアドレス等の連絡先を記載すること。

(参考様式) (第9条関係)

太陽光発電施設設置計画書 (189A)

防災対策等設置施設	☐ 調整池 ☐ 沈砂池 ☒ 排水設備 ☐ 擁壁 ☐ 管理用道路 ☐ その他 (浸透池)		
特定区域の該当 ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 地域森林計画対象民有林 ☐ 地すべり防止区域 ☐ 急傾斜地崩壊危険区域 ☐ 土砂災害特別警戒区域 ☐ 砂防指定地 ☒ 該当なし		
環境配慮区域の該当 ※50 キロワット以上の事業 に限る ※該当するものは事業区域図 に明示すること	☐ 国有林・地域森林計画対象民有林 ☐ 国立公園・国定公園・長野県立自然公園 ☐ 長野県自然環境保全地域 ☐ 郷土環境保全地域 ☐ 水道水源保全地区 ☐ 水資源保全地域 ☐ 希少野生動植物の生息地等保護区 ☐ 鳥獣保護区 ☒ 該当なし		
工程表	※別紙添付		
工事車両の運行計画	想定される台数 (延べ) 7t 車 平台車両 50 台 運行時間 9:00~15:00 7t 車 ユニック平台車両 5 台 経路 ※別途資料参照		
造成工事	盛土の有無	有 ・ ☒ 無	— m ³
	切土の有無	有 ・ ☒ 無	— m ³
	事業区域外からの搬入量		— m ³
	事業区域からの搬入量		— m ³
排水処理設備の有無	☒ 有 ・ 無		
	排出経路	新設の U 字溝から鷹山川	
送電設備	☐ 鉄塔 ☒ 電柱 ☐ 地下埋設		

(参考様式) (第7条関係)

景観の保全のための措置の検討状況書

項 目		検 討 事 項	配慮する内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	周囲に住宅等が少ない土地を選定しました。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、完成予想図の作成（シミュレーション）等を実施する。 ※検討で作成した完成予想図は添付すること	公共的な眺望点から視認できる場所には位置していないが、入口部分から事業用地の方向を示した図を作成しました。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	面する道路境界から0.5メートル以上後退させました。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	パネル間を1.6mとすることにより大規模な平滑面が連続することを避けた。
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	周囲に住宅等が少ない土地を選定しました。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	主要な道路や公共的な眺望点から見えにくい土地を選定しました。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	効率のよい角度でそろえて、配置しました。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	パネルの角度を25度としましたが、周囲に住宅や人通りが少ない場所であるため、問題ないと考えます。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	モジュールの裏面は主要道路から見えない配置としました。

項 目		検 討 事 項		配慮する内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を施す等、太陽光の反射を低減する対策を行う。また、素材の結晶が目立たないものを選択する。		防眩処理が施されたパネルを選択しました。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩度の目立たないものとする。		パネル色は黒を採用します。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる	出来るだけ反射の少ないものを選定するようにしました。
			(2) 太陽電池モジュールと同系色を用いる。	同系色ではないが、彩度の低いシルバーを採用します。
附帯施設・ 附属施設		(1) フェンス等については、色彩、形態・意匠に配慮する。		付近の景観に合わせ茶色のフェンスを使用します。
		(2) 電柱電線類については、極端に増加させないよう、低減に努める。		新設は必要最低限の本数となるようにしました。
		(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧器等の付属設備については、色彩等に配慮する。		出来る限り、色彩等に配慮し、選定しました。
敷地の緑化		(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発揮できるよう、根巻きを行った苗などの使用を検討するとともに、植栽間隔や苗木の大きさに配慮する。		植栽は基本的に考えておりませんが、必要に応じて検討致します。
		(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低木性の樹種を避け、地域に適した植生とする。		植栽を行う際は検討致します。
その他		(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地に反射光の影響が懸念される場合は、配置や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へい措置について検討する。		付近に住宅は少なく、反射光影響が少ないと考えられる。
		(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を行うなど、適切に維持管理を行い、景観の保守に努める。		保守点検はグループ会社に委託し、事業期間内管理を行う。
		(3) 事業区域場所の景観行政団体の定める景観育成基準への適合を確認する。		※長和町景観条例の景観育成基準を確認し、工事着手日30日前までに届出提出予定。

上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。

(参考様式) (第 19 条関係)

維 持 管 理 計 画

作成日

令和 7 年 7 月 7 日

太陽光発電施設の設置場所	小県郡長和町大門字大萱野 3578 番 1・3600 番 4・3601 番・3602 番 2・3578 番 2	
事業者名（法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称、代表者の氏名、住所及び連絡先）	住 所 東京都千代田区神田須田町 1-16-5 氏 名 株式会社プロメディア 代表取締役 尾高智明 連絡先 (電話番号) 03-3527-9133	
保守点検責任者	氏名及び住所	株式会社プロメディア 東京都千代田区神田須田町 1-16-5
	電話番号	03-3527-9133
合計出力	900kW	
維持管理の内容	別紙のとおり	
施設撤去予定日（事業終了予定日）	令和 28 年 7 月 31 日	
損害保険の加入状況	☒ 有 ☐ 無 (保険内容 自然災害 電氣的・機械的事故の対応)	
太陽光発電施設を撤去する際の対応	廃棄物処理業者に依頼し、太陽光発電施設の撤去および処分を実施。	
維持管理計画及び状況の公表方法	・ 現地に標識看板を設置し、事業者・連絡先を明記 ・ 情報開示請求があった場合は個別に対応	

※標識に掲示することにより公表する場合には、標識の記載項目と同一のところは記載を省略することができます。

＜太陽光発電施設等の周辺において土砂災害等が発生するおそれがある場合に予定している措置の内容＞

強風による飛散

- ・ 太陽電池モジュール、架台の固定部に緩みがないこと、基礎などが強度不足になるような劣化がないことを保守点検項目に従い巡視を実施

豪雨による水害

- ・ 土砂崩れ等の兆候がないか、排水機能に異常がないか、保守点検項目に従い巡視を実施

＜土砂災害等により太陽光発電施設の損壊が生じ、又は周辺地域の環境の保全に支障が生じた場合に予定している措置の内容＞

- ・ 事故、災害が発生した場合には、迅速に状況を把握し、関係機関（経済産業省、県など）に連絡をする。

- ・ 土砂の流出やパネルの飛散など周辺環境に影響を及ぼした場合は、速やかに撤去し、二次災害が起きないよう対策を講じる。

<別紙>

太陽光を電気に変換する施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
太陽電池アレイ	☑	太陽電池モジュール	表面及び裏面に著しい汚れ、きず、破損がない。	目視	年4回	
			端子箱に破損、変形がないか		年4回	
			フレームに著しい汚れ、きず、腐食、破損がない。		年4回	
	☑	コネクタ	破損、変形がなく確実に結合されている。		年4回	
	☑	ケーブル	配線に著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損がない。		年4回	
			配線に過剰な張力、余分な緩みがない。		年4回	
	☑	電線管	破損、変形、汚損、腐食がなく正しく固定されている。		年4回	
	☑	接地線	接地線に著しい破損、断線がなく正しく接続されている。		年4回	
			接続部に緩み、破損がない。		年4回	
	☑	架台	基礎に著しいひずみ、損傷、ひびなどの破損が進行していない。		年4回	
			架台の変形、きず、汚損、さび、腐食、破損がない。		年4回	
			積雪による沈降、不等沈降、地際腐食等などの影響がない。		年4回	
			ボルト、ナットの緩みがない。		年4回	
			固定強度に不足の懸念がない。		年4回	
接続箱	☑	本体	著しい汚損、さび、腐食、破損、変形がない。		年4回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年4回	
			雨水、じんあい等の侵入がない。		年4回	
	☑	配線	配線に著しい汚損、破損、きず、さびがなく正しく固定されている。		年4回	
漏電遮断器	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、破損、変形などがない。		年4回	
	☑	配線	配線に著しいきず、破損がない。		年4回	
パワーコンディショナー	☑	本体	著しい汚れ、さび、腐食、きず、破損、変形がない。		年4回	
			固定ボルトなどに緩みがなく確実に取り付けられている。		年4回	
			コーキングなどの防水処理に異常がなく雨水などの侵入がない。		年4回	

			運転時の異常な音、振動、臭い、加熱がない		年4回	
	☒	配線	配線に著しい汚れ、破損、汚れ、さび、腐食、破損などがない。		年4回	

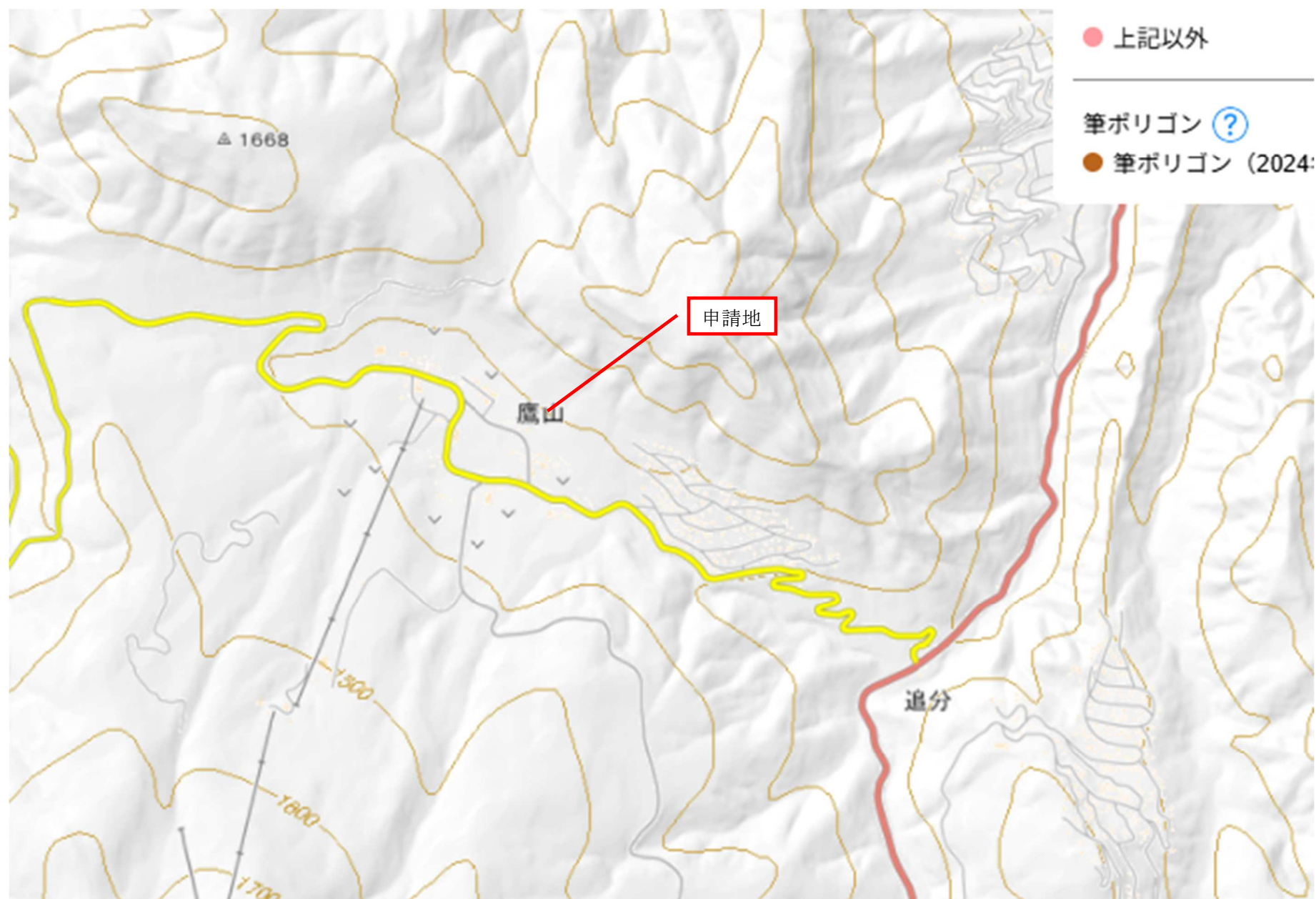
附帯施設

対象	該当の有無	点検箇所	点検項目	点検方法	点検頻度	点検実施日
法面・擁壁	☐	切土法面	小段の沈下がない。	目視		
			排水溝の損傷がない。			
			目地にずれがない。			
			開口量の大きな亀裂が発生していない。			
			吹付工法等の剥離がない。			
			法枠工法等の破断がない。			
			はらみ出しの発生がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			崩落がない。			
			上部斜面からの土砂流出がない。			
	☐	盛土法面	小段の沈下がない。			
			段差が発生していない。			
			排水溝の損傷がない。			
			法尻の崩落がない。			
			オーバーフローによる洗掘がない。			
			大量の湧水（濁り）がない。			
			湧水箇所の軟弱化がない。			
		擁壁	亀裂、割れが生じていない。			
			座屈、段差、傾斜がない。			
			つなぎ目にずれがない。			
			水抜き穴につまりがない。			
			水抜き穴から異常な土砂流出がない。			
			地山に変形がない。			
排水設備	☒	排水溝、枡	水路に落下物等のつまり、堆積がない。		年4回	
			亀裂、ずれがない。		年4回	
			破損がない。		年4回	
			排水設備外への漏水がない。		年4回	
調整池	☐	堤体	上下流の法面に崩れ、亀裂、損傷、陥没、漏水がない。			
			堤頂に亀裂、沈下、損傷、陥没、漏水がない。			
			草木の繁茂がない。			

	☐	基礎	堤体の基礎に漏水、地山のはらみ出し、沈下、崩壊がない。			
	☐	余水吐き	導流水路に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			越流部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			放流水路に亀裂、損傷、劣化及び継ぎ目の開きがない。			
	☐	放流施設	規定の放流先以外への漏水、土砂の流出がない。			
			呑口部に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			吐き口に亀裂、損傷、劣化、継ぎ目の開きがない。			
			油等の浮遊がない。			
	☐	貯留部	法面に崩れ、亀裂、破損、湧水がない。			
			天端に損傷、沈下、陥没、損傷がない。			
			貯留部低地に著しい土砂の堆積がない。			
			油等の浮遊がない。			
			下流河川（周辺）に洗掘、崩壊がない。			
防護柵、塀	☒	フェンス（防護柵）	著しいさび、きず、破損、傾斜がない。		年4回	
	☒	標識（事業計画、注意喚起）	視認性を損なう汚れ、文字の色落ち、擦れ、破損がない。		年4回	
	☒	入口扉	開閉に異常がなく施錠に問題がない。		年4回	
進入路・管理道	☒	通路等	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年4回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年4回	
			雨水等による洗掘がない。		年4回	
			草木の繁茂がない。		年4回	
設置地盤	☐	舗装あり地盤	亀裂、剥離がない。			
			段差、傾斜がない。			
			空洞の発生（土砂の流出）がない。			
			隆起の発生がない。			
設置地盤	☒	舗装なし地盤	周辺からの土砂の流入、堆積がない。		年4回	
			事業地周辺への土砂の流出がない。		年4回	
			雨水等による洗掘がない。		年4回	
			草木の繁茂がない。		年4回	

※施設の規模や立地、設備に応じた内容の点検項目を適宜追加してください。

広域案内図

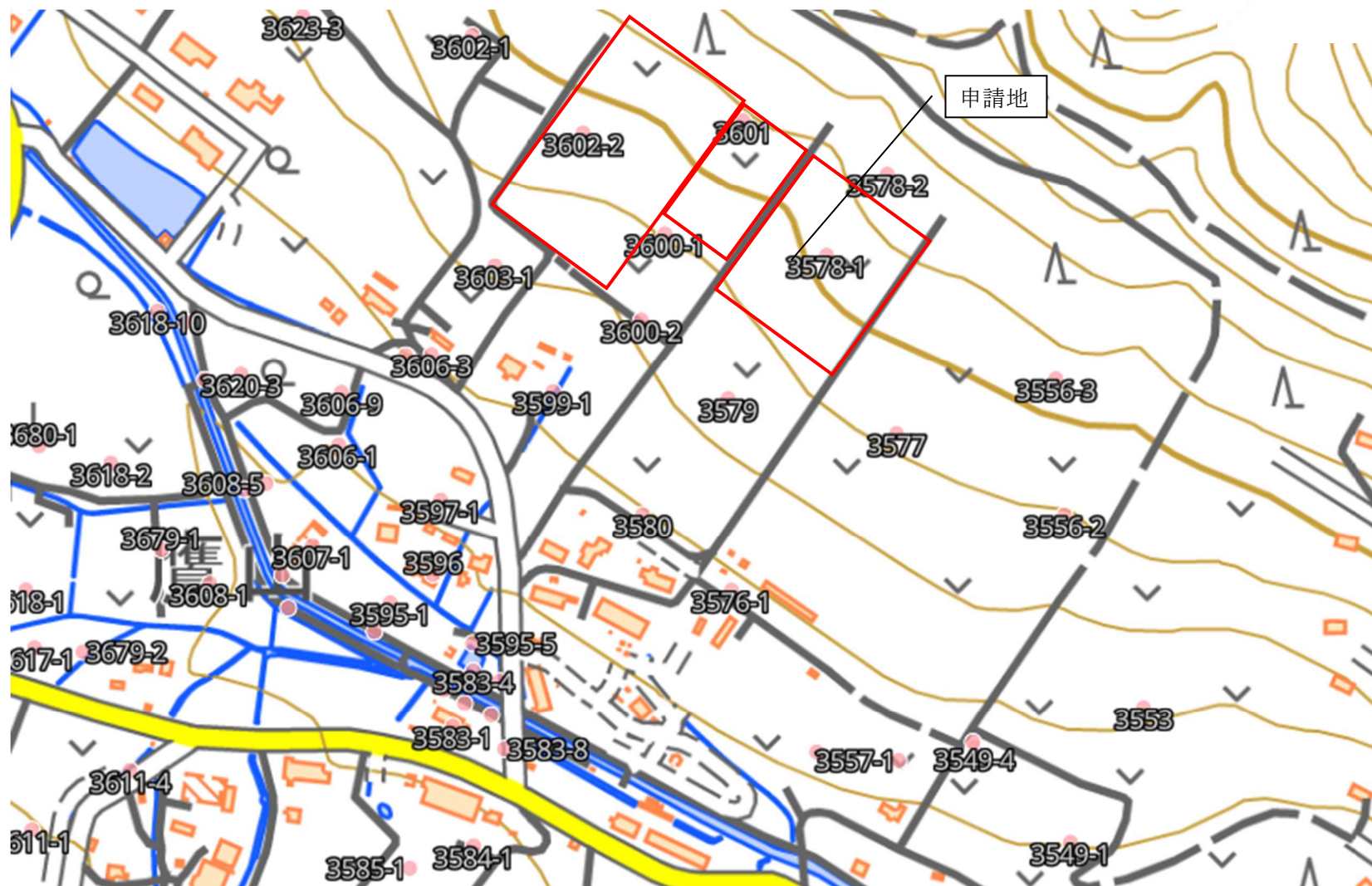


案 内 図

長和町大門字大萱野 3578 番 1 筆他 4 筆 198A 事業地

(株) プロメディア 申請地

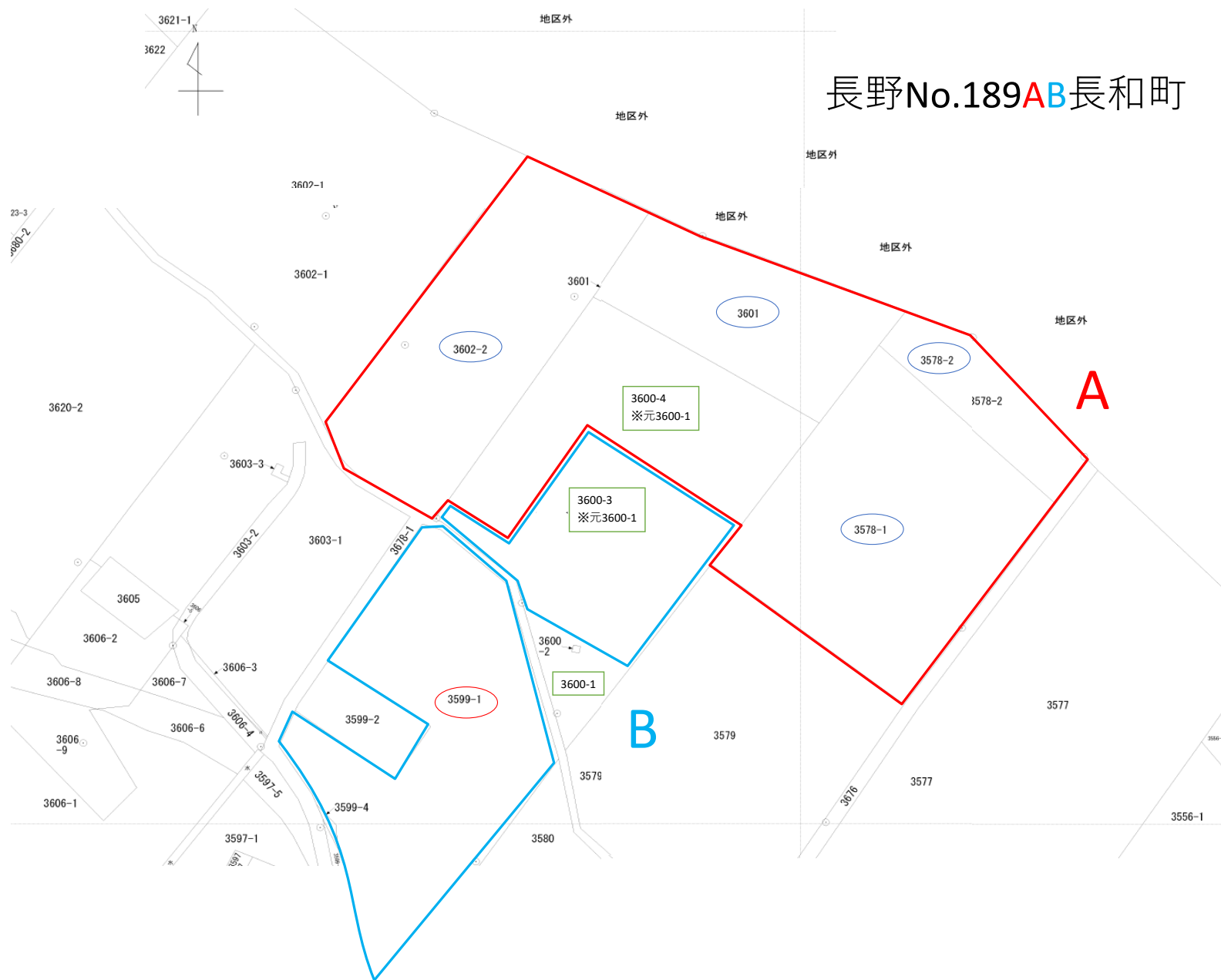
長和町
大門



空中写真



長野No.189AB長和町



189A・土地利用計画図

アレイ方位角：36° 1/ 500 (A1)
アレイ傾斜角：25° 1/1000 (A3)
アレイ間隔：1600

- 発電出力
- 太陽電池モジュール（J A）
定格出力645W x 2550枚 = 1644.75 kW
 - パワーコンディショナ（サンクロー）
定格出力50.0kW x 18台 = 900.0 kW
 - 配線系統 15直列10回路 x 8系統 = 1200枚
15直列 9回路 x 10系統 = 1350枚

基準点座標一覧表				
点 名	X座標	Y座標	Z座標	杭 種
401	16278.732	-26068.683	1366.437	金属 鉄
402	16314.180	-26050.844	1372.277	金属 鉄
403	16366.499	-26016.936	1381.385	金属 鉄
404	16396.693	-26050.281	1385.538	金属 鉄
405	16443.890	-26016.771	1395.265	金属 鉄
406	16490.794	-25984.277	1404.834	金属 鉄
407	16476.785	-25942.587	1404.850	合成樹脂杭
408	16461.222	-25907.225	1405.805	合成樹脂杭
409	16438.099	-25849.711	1409.856	金属 鉄
410	16408.225	-25871.421	1402.828	金属 鉄
411	16381.025	-25891.079	1396.285	金属 鉄
412	16347.871	-25915.200	1388.905	金属 鉄
413	16310.379	-25942.828	1381.449	金属 鉄
414	16266.273	-25975.904	1373.771	金属 鉄
415	16225.582	-26007.288	1366.754	金属 鉄
416	16182.536	-26035.676	1360.213	金属 鉄
417	16229.908	-26045.193	1363.278	金属 鉄

凡 例	例
図 式	境界線の種類
田	コンクリート杭
田	合成樹脂杭
田	金属 鉄
田	金属 鉄
田	ベ イ ント
田	木 杭
田	計 算 点
田	多 角 点

所在地	小県郡長和町大門字萱野		
図面名	189A・土地利用計画図		
作成年月日	令和7年4月24日		
縮 尺	1/ 500 (A1) 1/1000 (A3)	図面番号	業之内
会社名			
作成者			

工 程 表

案件名		長野 県 No. 189A							名称： 長和町			連 系 予 定 日			2026年8月1日														
大項目	小項目	備考	2025/10月		11月			12月	2026/1月	2月	3月	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
工事	造成		造成					冬季期間																					
	杭工事				杭工事							杭工事																	
	組立工事												組立工事																
	電気工事															電気工事													
	使用前自己確認検査																	使用前自己確認検査											
連系																								連系					

搬入経路



申請地：小県郡長和町大門字大萱野 3578 番 1 他 4 筆 26,89 m²

撮影年月日 令和 7 年 7 月 7 日

事業地全景（事業地中央通路最上段より事業地下方向に向けて撮影）

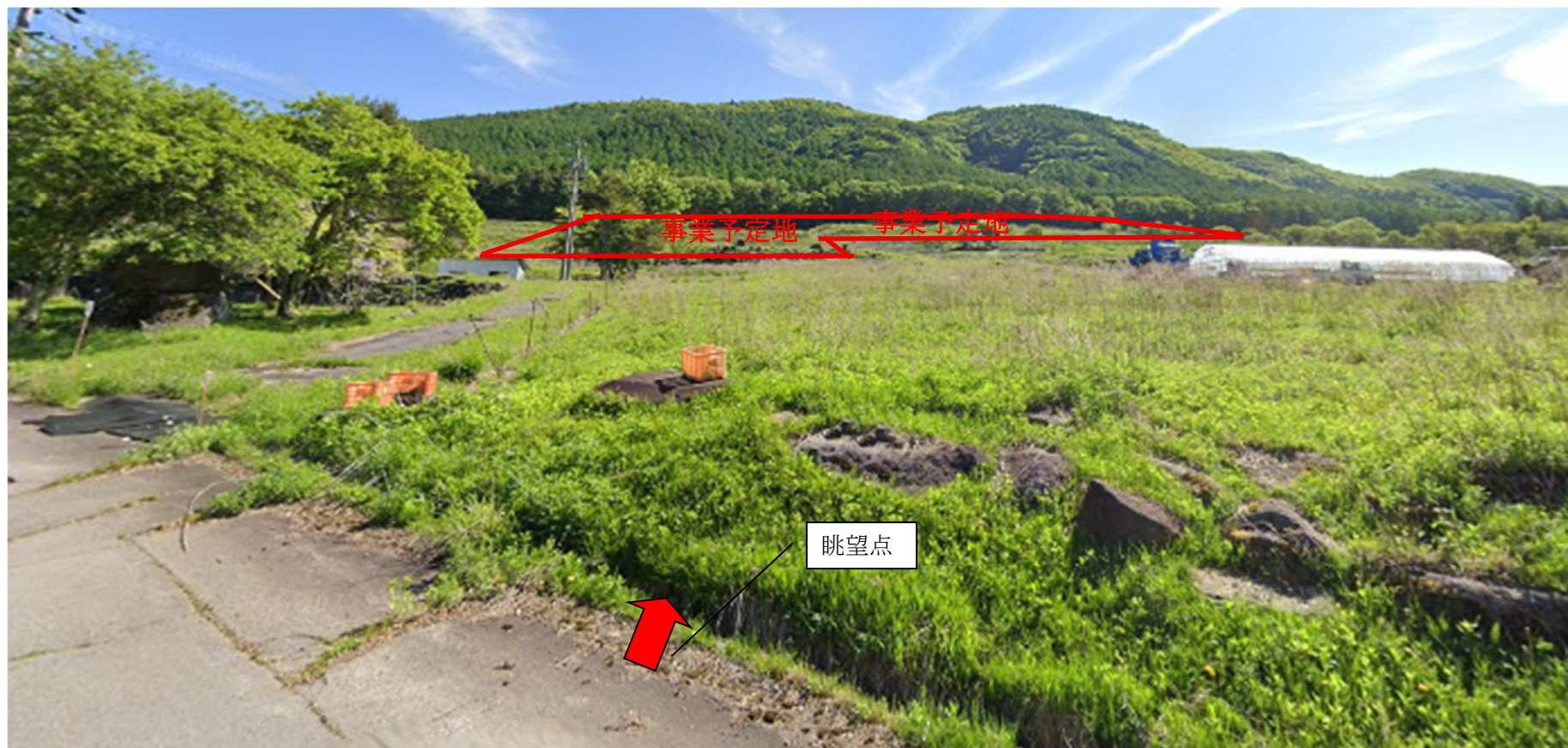


※この地点以外事業地全景を視認できる箇所はない

任意眺望点



※この地点以外に道路上または建物上から事業予定地を視認できる個所はない。



※この地点以外に道路上または建物上から事業予定地を視認できる個所はない。